

2022 年度

日本社会教育学会 六月集会

プログラム

JAPAN SOCIETY for the STUDY of ADULT and COMMUNITY EDUCATION : Academic Meeting June of 2021

2022 年 6 月 4 日 (土) 10:00 ~ 16:00

6 月 5 日 (日) 10:00 ~ 16:00

オンライン (zoom) 開催 (運営: 慶応義塾大学)

6 月 4 日 (土)	10:00 ~ 12:00	休憩	13:00 ~ 16:00
	70 周年準備企画		プロジェクト研究 「社会教育士養成の可能性と課題」 「障害をめぐる社会教育・生涯学習」
6 月 5 日 (日)	10:00 ~ 13:00	休憩	14:00 ~ 16:00
	プロジェクト研究 「社会教育における余暇・レクリエーションの再検討」 「SDG s と社会教育・生涯学習」		ラウンドテーブル ①~②

当日の参加受付はありません

参加希望の方は 事前参加申込み方法について、P. 2 ~ 参照のこと。

<事前参加申込システム> 受付期間: 4 月 28 日 (木) ~ 5 月 22 日 (日) まで

※参加費 (事前振込): 一般 1,000 円

院生/学部生 無料 (但し、学生証添付で申込みのこと)

※全国理事会は 6 月 20 日 (月) 18:30 ~ オンラインでの開催を予定しております。

【各地の研究集会】

◎東北・北海道研究集会 (東北大学) ※オンライン開催の場合あり	6 月 11 日 (土)・12 日 (日)	7 頁
◎東海・北陸地区社会教育研究集会 (オンライン開催) ※事前申込必要	6 月 11 日 (土)	8 頁
◎関西研究集会 (オンライン開催) ※事前申込必要	6 月 25 日 (土)	9 頁
◎中国・四国地区社会教育研究集会 (高知大学/オンライン併用) ※事前申込必要	6 月 25 日 (土)	10 頁
◎九州・沖縄地区六月集会 (鹿児島大学/オンライン併用) ※事前申込必要	6 月 25 日 (土)	11 頁

ご注意 新型コロナウイルス感染症の影響により、日程・会場の変更や取止め等の場合がありますので、参加される方は必ず事前に学会HPで確認するようお願いいたします。

日本社会教育学会 <https://www.jssace.jp/> E-mail: jssace.office@gmail.com

〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8 東京農工大学農学部環境教育学研究室気付

□六月集会の事前参加申込について

六月集会参加は事前申込みとさせていただきます。

参加希望の皆さま（会員・非会員とも）には、学会ホームページよりオンライン参加登録手続きを行っていただきます（オンラインで手続きが出来ない方は、下記事務局までご連絡ください）。

集会の要旨は、参加登録者ページに掲載し、各自で閲覧していただくようになります。

集会当日の参加受付はいたしませんので、必ず事前に参加申込み（事前振込）をお忘れなきようお願いいたします。

準備の都合上、お申込み後のキャンセルはご遠慮ください。一度振り込まれた参加費は返金いたしません。新型コロナウイルス感染症対策下での運営のため、ご迷惑・ご不便をおかけすることをご理解いただき、円滑な集会運営にご協力いただければ幸いです。

●オンライン事前参加申込受付：4月28日（木）～5月22日（日）

学会HPの画面左下にある＜六月集会参加申込システム＞から参加登録をしてください（会員・非会員とも）。入金が確認できない場合は、参加申し込みとなりませんので、ご注意ください。

※院生・学部生も参加申込みが必要です（学生証添付の上、参加費無料）。

●参加費の支払い：一般 1,000 円

振込先：ゆうちょ銀行

振替口座：00150-1-87773

口座名：日本社会教育学会

◎他金融機関からの振込用口座番号：〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）当座 0087773

●問合せ先

日本社会教育学会事務局 ≪HP <https://www.jssace.jp/>≫

〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8 東京農工大学 農学部環境教育学研究室内

E-mail：jssace.office@gmail.com

□オンライン開催にあたっての注意事項

- ・本大会では、すでに多くの大学等での実績があるオンライン会議システム「Zoom」を使用します。
- ・オンライン会議室では最大接続数があり、これを越えると入室することはできません。あらかじめご了承ください。また、多くの皆様に参加していただくため、1 人の方が複数の端末を使って複数の発表に同時にアクセスすることをご遠慮ください。
- ・基本的に、録画による受信映像や画面共有資料の保存（画面キャプチャーを含む）、録音、再配布を禁止します。ただし、発表者や主催者の許可があった場合はその限りではありません。
- ・チャット機能を使用して当日に資料を配付することがありますが、配布後に参加した場合はその資料をダウンロードできないことがあります。
- ・無用な音声の流入・ハウリングや、不安定なネットワークからの接続などによりセッションの進行に支障があると判断される場合には、ホスト側によりミュート操作を行ったり、接続を切断したりする可能性があります。
- ・その他、進行にあたっては司会者・ホストの指示に従っていただけますようお願いいたします。

【第1日 6月4日（土）】

70

周年準備企画

10:00～12:00

司 会 上野 景三（西九州大学）
 登壇者 長澤 成次（千葉大学名誉教授）
 田中 雅文（日本女子大学）
 辻 浩（名古屋大学）
 李 正連（東京大学）

プロジェクト研究

「社会教育士養成の可能性と課題」

13:00～16:00

テーマ データから見た社会教育士養成の現状と課題—サプライとニーズの観点から—
 司 会 高井 正（立教大学）・倉持 伸江（東京学芸大学）
 報告Ⅰ 「サプライサイドから見た社会教育士養成の現況—全国的状况を中心に—」
 小屋松 英（文部科学省）
 報告Ⅱ 「市町村教委における社会教育士養成へのニーズ—中国地方における調査に基づいて—」
 久井 英輔（法政大学）
 報告Ⅲ 「社会教育関係職員からの社会教育士へのまなざし
 —185名へのアンケート調査と6名へのインタビュー調査から—」
 赤尾 勝己（関西大学）
 指定討論者 大村 恵（愛知教育大学）・渋谷 かさね（静岡大学）

プロジェクト研究

「障害をめぐる社会教育・生涯学習」

13:00～16:00

テーマ インクルーシブな地域をつくる実践に内在する学び
 司 会・課題提起 向井 健（松本大学）・久保田 治助（早稲田大学）
 報告Ⅰ 「社会教育施設が関わって排除リスクの高い人を巻き込んでいる実践」
 増本 佐千子（東京農工大学大学院）
 報告Ⅱ 「親や本人が中心になって地域づくりに関わっていく実践」
 大森 梓・飯嶋 賢太郎・原田 奈津紀・百瀬 賢太郎
 （NPO 法人障がい児・者の学びを保障する会）
 近野 悦子（東はりまチャンゴ）
 増田 一世（公益財団法人やどかりの里）
 報告Ⅲ 「障害者施設が中心になってインクルーシブな地域づくりに挑戦している実践」
 嶋田 浩一（NPO 法人 ちょうふの風）
 田口 ひろみ（NPO 法人 ポラリス）

【第2日 6月5日（日）】

プロジェクト研究「SDG sと社会教育・生涯学習」 ----- 10:00 ~ 13:00

- テーマ SDG sと社会教育・生涯学習の双方向の関係を構想する
司 会 近藤 牧子（早稲田大学・非常勤）・孫 美幸（文教大学）
報告Ⅰ 「地方自治体におけるSDGsと公民館施策の双方向的な関係—岡山市の事例を中心に—」
内田 光俊（岡山市立西大寺公民館）
報告Ⅱ 「多様な主体が協働する持続可能な里海づくり」
神田 優（NPO 法人 黒潮実感センター）
報告Ⅲ 「SDG 4の視点と社会教育実践の新たな方向性」
荻野 亮吾（佐賀大学）

プロジェクト研究「社会教育学における余暇・レクリエーションの再検討」 -- 10:00 ~ 13:00

- テーマ 余暇・レクリエーションからみる社会教育学の領域、視角
司 会 萩原 建次郎（駒澤大学）
報告Ⅰ 「社会教育学を『余暇（レジャー）』の視点から再検討する意義と課題」
歌川 光一（聖路加国際大学）
報告Ⅱ 「社会教育における『体育及びレクリエーション』という位置づけについて」
坂内 夏子（早稲田大学）・青野 桃子（大阪成蹊大学）
報告Ⅲ 「社会教育学における／への余暇と学習」
杉山 昂平（東京大学）・執行 治平（東京大学大学院）
報告Ⅳ 「情報化は『趣味語り』を促進するか？ —趣味園的公共圏の生成条件—」
長崎 励朗（桃山学院大学）
コメンテーター 奥村 旅人（びわこ成蹊スポーツ大学）・両角 達平（国立青少年教育振興機構）

ラウンドテーブル ----- 14:00 ~ 16:00

① 社会教育法 70 年と社会教育法制をめぐる課題（その5）—博物館法「改正」をめぐる（その3）

- コーディネーター 長澤 成次（千葉大学名誉教授）
姉崎 洋一（北海道大学名誉教授）
栗山 究（日本女子大学・非常勤）
金子 淳（桜美林大学）
青木 加苗（和歌山県立近代美術館）
報 告 文化庁職員（調整中）
瀧端 真理子（追手門学院大学）
小林 公（兵庫県立美術館）

②「ジェンダーと社会教育」の再検討（その2）—パートナーシップ制度にかかわる教育・学習

コーディネーター	猪瀬 優理（龍谷大学）
	亀口 まか（龍谷大学）
	辻 智子（北海道大学）
	富永 貴公（都留文科大学）
	矢内 琴江（長崎大学）
司 会	辻 智子（北海道大学）
話題提供	富永 貴公（都留文科大学）
コメンテーター	猪瀬 優理（龍谷大学）

◇運営校連絡先

山梨 あや（慶応義塾大学）

TEL：090-2429-3602

E-mail：yamanasi@flet.keio.ac.jp

東北・北海道研究集会

東北大学大学院教育学研究科

6月11日(土) 14:00～17:00

6月12日(日) 10:00～15:00

地域再生への教育計画(3)

◇プログラム

6月11日(土) 14:00～17:00

シンポジウム：地域再生への教育計画(3) —社会教育マインドからの学校経営の可能性と課題—

登壇者： 蛭名 博人氏(宮城県利府町立利府小学校校長)

戸倉 深希子氏(福島県棚倉町立高野小学校校長) 他

6月12日(日) 10:00～15:00

自由研究発表

◇会場：東北大学大学院教育学研究科 ※オンライン開催の場合あり

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1

東北大学 川内南キャンパス文科系総合研究棟

◇アクセス：仙台市営地下鉄〈東西線〉「川内」駅 徒歩6～9分

◇連絡先

松本 大(東北大学)

住 所：宮城県仙台市青葉区川内 27-1 東北大学大学院教育学研究科

電 話：022-795-6124 Email：dai.matsumoto.c5@tohoku.ac.jp



6月11日（土）13:30～16:30

静岡県における社会教育主事養成の現状と展望

—社会教育士の称号取得者の可能性も含めて—

◇プログラム

司 会：大村 恵（愛知教育大学）

報告1：「静岡県における社会教育主事（社会教育士）養成の在り方と課題
～本県の社会教育行政を踏まえて～（仮）」

静岡県教育委員会社会教育課

報告2：「常葉大学における社会教育主事養成の現状と展望」

猿田 真嗣（常葉大学）

報告3：「静岡大学における社会教育主事養成の現状と展望」

渋谷 かさね（静岡大学）

コメンテーター： 大野木 龍太郎（静岡大学・非）

小屋松 英（文部科学省）

廣瀬 隆人（一般社団法人とちぎ市民協働研究会）

◇開催方法：Zoom 開催（お申し込みをされた方には後日、URL をご連絡します）

◇申込：事前申し込みをお願いします。

申込先 <https://forms.gle/f3qNehK57r1ntENBA>

申込締切 2022 年 6 月 3 日（金）

◇連絡先

渋谷 かさね（静岡大学）

電話：054-238-4602

Email：shibue.kasane@shizuoka.ac.jp

第 46 回 関西研究集会

オンライン開催

6 月 25 日（土）10:30～16:30

現場とともに交流と対話の方法をさぐる

～多文化共生を志向する社会における日本語教育・識字実践の現状と課題～

◇プログラム

午前の部

司 会：岩槻 知也（京都女子大学）

基調報告：「日本語教育・識字実践に関する様々な論点の整理」

新矢 麻紀子（大阪産業大学）

午後の部 事例報告 & 全体討議

司 会：森岡 伸枝（大阪芸術大学）

堀 薫夫（大阪教育大学名誉教授）

報告 1：「識字運動からみた社会教育と多文化共生のあり方、識字・日本語学習活動の課題について」

菅原 智恵美（大阪公立大学人権問題研究センター特別研究員）

報告 2：「『コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究』等を踏まえて考える、

多文化共生とことばの役割について」

山野上 隆史（公益財団法人とよなか国際交流協会）

報告 3：「多文化共生の社会づくりを目指す地域日本語教育の総合的な体制づくりー兵庫県の試みー」

村上 由記（公益財団法人 兵庫県国際交流協会）

遠藤 知佐（大阪大学非常勤講師・元兵庫県国際交流協会）

コメンテーター： 新矢 麻紀子（大阪産業大学）

林 美輝（龍谷大学）

◇開催方法：Zoom 開催（お申し込みをされた方には後日、URL をご連絡します）

◇申込：事前申し込みをお願いします。

申込先 <https://forms.gle/RrSzKQFdKEh8c6E89>

申込締切 2022 年 6 月 17 日（金）

◇連絡先

出相 泰裕（大阪教育大学）

電話：072-978-3467（研究室直通）

Email：deai@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

6 月 25 日（土）13:00～16:30

社会教育と地域協働

◇プログラム

地域社会の再生と持続的可能な発展をめざし、立場や利害を越えて多様な地域主体（人や組織）間の協働を生み出してきている地域づくりの実践をひろく取り上げ、そこに見られる人々の人間関係づくりの広がりや地域学習の深まり、それを可能としている要因や条件を検討して、地域を創る社会教育実践のあり方を学び合います。

報告 1：「地域協働を通じた持続可能な地域づくり～高知県須崎市安和地区の取り組み～」

門田 雅人（須崎市立安和小学校学校運営協議会長）

報告 2：「課題可決型図書館サービス計画づくりにおける地域協働」

鈴木 章生（オーテピア高知図書館）

報告 3：「中山間地域における大学生や移住者との地域協働～高知県土佐町石原地区の取り組み～」

三谷 七香（「集落活動センターいしはらの里」「いしはらキッチン」）

斉藤 雅洋（高知大学）

報告 4：「協同労働（協働）による市民センター運営を通じた地域づくり」

小谷 加代（日本労働者協同組合連合会センター事業団高知事業所）

基調報告・コーディネート：内田 純一（高知大学）

◇会場：高知大学（朝倉キャンパス）総合研究棟（地域協働学部）会議室 1 〈対面・オンライン併用〉
〒780-8520 高知市曙町 2-5-1

◇オンライン参加の方：6 月 20 日（月）までに下記連絡先へお申込みください。

6 月 21 日以降に、ZoomURL 等をご案内します。

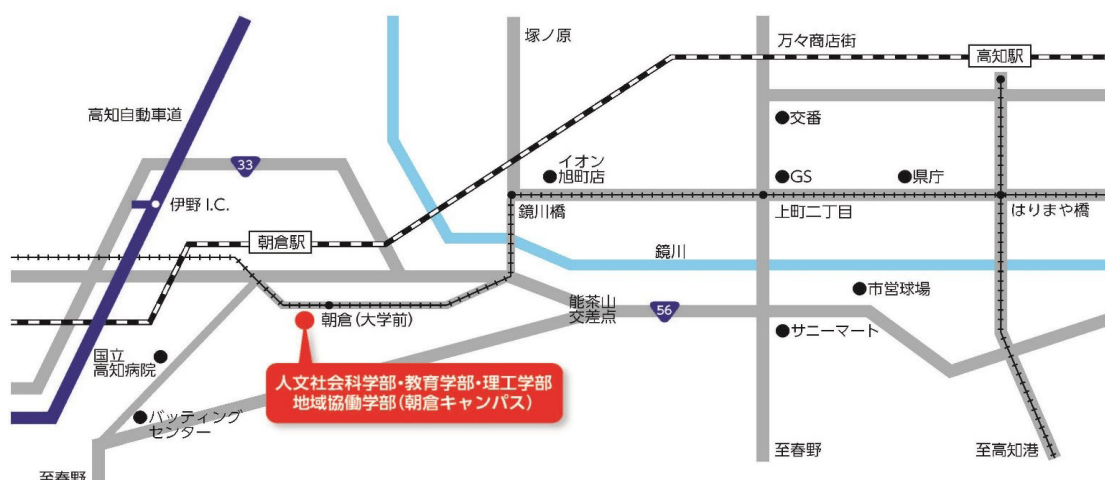
◇アクセス：①高知龍馬空港から：車で約 45 分。空港バスで約 35 分「はりまや橋」下車
→路面電車で約 30 分「朝倉」下車。

② JR 高知駅から：車で約 20 分。JR 土讃線下り 15 分「朝倉駅」下車徒歩 3 分。

③高速道路（高知道）：伊野 I C から車で約 10 分。

◇連絡先：内田 純一（高知大学地域協働学部） tel & fax : 088-844-8940

Email : uchida @ kochi-u.ac.jp



九州・沖縄地区六月集会

会場：鹿児島大学・オンライン併用

6 月 25 日（土）14:00～16:00

社会教育・生涯学習振興と協働関係の再構築

～南九州からの発信～

◇プログラム

司 会：金子 満（鹿児島大学）・酒井 佑輔（鹿児島大学）

報告 1：「社会教育主事の仕事としての学校地域連携とコミュニティ再生

～屋久島町と串木野市を事例に～」

溝上 秀人（元屋久島町教育委員会・現串木野市教育委員会）

報告 2：「かごしま県民大学中央センターの近年の動き～ミッションの再定義と課題」

下屋敷 由貴子（かごしま県民大学中央センター所長）

報告 3：「大学の社会教育研究者による教育研究活動の射程と現実」

農中 至（鹿児島大学）

コメンテーター： 上野 景三（西九州大学）

岡 幸江（九州大学）

◇会場：鹿児島大学郡元キャンパス法文学部

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

※リアル会場およびオンラインのハイブリッド形式での開催を予定しています。

◇申込方法：

参加をご希望の方は、リアル会場、及び、オンライン参加を問わず、下記の申込フォームに必要事項を記入の上、6月20日（月）までにお申し込みください。6月21日（火）以降に登録いただいたメールアドレスに当日の会場、並びに zoom URL 等の詳細を案内いたします。

<https://forms.office.com/r/PNY08nMHGX>

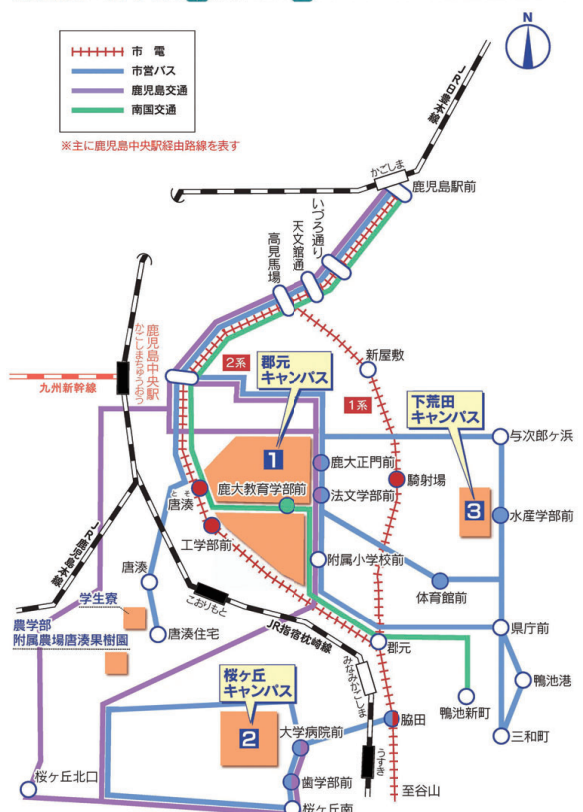
QR コードです。↓



◇連絡先：小栗 有子（鹿児島大学）

Email：oguri@life.kagoshima-u.ac.jp

■鹿児島市へのアクセス 鹿児島空港から鹿児島中央駅まで約40分



日本社会教育学会 2022 年度六月集会・研究集会プログラム
2022 年 4 月 25 日発行

【発行】日本社会教育学会事務局

〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8 東京農工大学農学部環境教育学研究室気付

E-mail : jssace.office@gmail.com <https://www.jssace.jp/>

【会費等納入先】

ゆうちょ銀行 振替口座 00150—1—87773（口座名：日本社会教育学会）

他金融機関からの振込用口座番号 〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）当座 0087773
